

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(木本高等学校 定時制)

1 目指す姿

| | | |
|------------|---------------------|--|
| (1)目指す学校の姿 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成する学校 ・地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、地域に信頼される学校 |
| (2) | 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) | <ul style="list-style-type: none"> ・自分への自信と誇り、他者への思いやりの心と規範意識を持ち、学習に積極的に取り組む生徒 ・地域に誇りや愛着を持ち、地域に信頼され、地域に貢献する力を持つ生徒 |
| | 【グラデュエーション・ポリシー】 | |
| | ありたい教職員の姿 | <ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像の実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ・生徒の状況を理解し、それぞれの生徒に合わせた一人ひとりを大切にする指導をする教職員 |

2 現状認識

| | | |
|----------------------------|--|--|
| (1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待 | <p><生徒> 仕事や家庭と学校生活を両立しながら安心して学習し、学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を得たい。</p> <p><保護者> 毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。</p> <p><地域社会> すべての生徒が安心して学べる場を確保し、地域に貢献する人材を育ててほしい。</p> <p><進路先> 基礎学力、コミュニケーション力、自主性、規範意識を持った人材を育ててほしい。</p> | |
| (2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待 | 連携する相手からの要望・期待 | 連携する相手への要望・期待 |
| | <p><保護者> 学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を取らせたい。</p> <p><中学校> 学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を取らせたい。</p> <p><地域社会> すべての生徒の学ぶ場を確保する意味でも、教育活動を継続してもらいたい。</p> | <p><保護者> 緊密な連絡・協力体制づくりに協力をお願いしたい。</p> <p><中学校> 生徒に関する情報提供、指導への支援・協力をお願いしたい。</p> <p><地域社会> 外部講師、情報提供等、教育活動への支援・協力をお願いしたい。</p> |

| | | |
|------------------|-------|---|
| (3)前年度の学校関係者評価など | | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生徒理解をもとにした、丁寧な指導を引き続き行ってほしい。 中学校や関係機関との連携を今後も積極的に行ってほしい。 多様な生徒の学びを保障する場として、その存在価値を高めていってほしい。 |
| (4)現状と課題 | 教育活動 | <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな課題、背景を持つ生徒が学んでおり、引き続き生徒一人ひとりに合わせた丁寧できめ細かい指導が必要である。他校からの転入生も数名おり、在学期間が短く、学校への帰属意識や仲間意識が低い生徒も多い。 アンケートから、多くの生徒は高校卒業資格の取得を目標にしている。 少人数の強みを生かし、生徒一人ひとりの理解をすすめ、教職員間で情報共有することにより、生徒は安心して学校生活を送ることができている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒一人ひとりを理解するとともに、個別の対応が増加している。 教職員間で積極的に情報共有し、個別の対応にあたるとともに、全体での指導を改善する必要がある。 これまでのさまざまな取組を検証し、その取組の意義等を教職員間で再確認し共有する必要がある。行事や授業の方法など、学年間の統一した取組みについても考えていく必要がある。 |
| | 学校運営等 | <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒、教職員ともに少人数で、生徒一人ひとりに合わせた教育活動を行いやすいが、集団として活動し、社会性を育むには工夫が必要である。 生徒一人ひとりの課題や背景がさらに多様化し、日々の状況把握と情報共有が必要不可欠である。 昨年度のコンプライアンス研修では、教職員としての経験年数に応じてそれぞれの教員生活をふりかえり、積極的に意見を交換することにより、教職員一人ひとりのコンプライアンス意識を向上させることができた。 授業公開やケース会議などを通して中学校や関係機関と連携できてきた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、中学校や関係機関と連携することが増えてきている。入学まで受けてきた支援を継続し、充実させていくことが重要である。 特定の生徒については、定期的にケース会議を行い、関係者で支援の経過を情報共有し、今後の支援のあり方について協議している。高校卒業後の支援の継続についても関係機関と連携していく必要がある。 |

3 中長期的な重点目標

| | |
|----------------------------------|--|
| <p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 学習意欲を高め、基礎学力定着を図り、生徒が希望する進路を実現する。 学校や社会で生活するために大切な規範意識と社会性を育む。 様々な教育活動を通して本校への帰属意識と仲間意識が醸成する。 |
| 学校運営等 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりを大切にする教育活動を充実する体制をつくる。 地域との交流や地域の声を聞く機会を持つなど、開かれた学校をつくる。 業務の効率化を図り、職員の健康に配慮し、総勤務時間の縮減を図る。 |

4 求める生徒像

| | |
|--|---|
| <p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の学習環境や学校生活の仕組み等について基本的事項を理解している生徒 ・ 本校での学習に取り組むために必要な基礎学力や学習意欲、目的意識等を有している生徒 ・ 本校での学校生活に必要な規範意識や基本的生活習慣が身につけている生徒 |
|--|---|

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標とします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標とします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------|--|--------------|----|
| 命を大切に する教育と 生活習慣の 確立 | <p>○命を大切にする教育</p> <p>(1)生徒一人ひとりの状況の把握と教員間での情報共有の実施</p> <p>【行動指標】</p> <p>①個人面談を年3回以上実施</p> <p>②会議等での情報共有の実施</p> <p>○生徒指導</p> <p>(1)挨拶の励行と登校指導の実施</p> <p>【行動指標】</p> <p>①登校指導を毎日実施</p> <p>○人権教育</p> <p>(1)自分のあり方・生き方を考える機会となる人権学習の立案・実施</p> <p>【行動指標】</p> <p>①学期に1回の人権学習の実施</p> <p>○保健・安全</p> <p>(1)自身の健康についての啓発の促進</p> <p>【行動指標】</p> <p>①保健だよりを年4回以上発行</p> <p>②集会等での講話を通じた啓発</p> <p>(2)校内の施設・設備等の安全確認の実施</p> <p>【行動指標】</p> <p>①校内巡視を毎日実施</p> | (年度末および適宜記載) | ◎ |
| キャリア教育の充実 | <p>○進路指導</p> <p>(1)面談等を通じて生徒個々の適性や進路希望を把握し、きめ細かな進路指導を実施する</p> <p>【行動指標】</p> <p>①個別面談の実施(年3回以上)</p> <p>②ハローワークや全日進路担当との連携</p> | (年度末および適宜記載) | |

| | | | |
|----------|--|--------------|---|
| | <p>(2)生徒の職業観や就労意欲の醸成 【行動指標】 ①求人広告の掲示およびアルバイト等の奨励</p> | | |
| 学習指導の充実 | <p>○教科等指導 (1)基礎学力定着のため、適切な学習目標の設定と、目標達成に向けた指導 【行動指標】 ①教員間相互の授業見学の実施 ②生徒個々の理解度把握のため、定期的な提出物等の実施と点検 (2)「わかる授業」をめざし、生徒の自己肯定感の向上をテーマにした授業改善の取組を実施 【行動指標】 ①生徒ニーズアンケートの実施(年2回) 【成果指標】 ①ニーズアンケートによる授業に対する肯定的回答50%以上 (3)単位制・定通併修などの各種制度について、生徒・保護者・中学生等への周知を図る 【行動指標】 ①保護者、中学生等に向けた公開授業の実施 ②説明会や面談等での制度の周知</p> | (年度末および適宜記載) | ◎ |
| 帰属意識の育成 | <p>○教科等指導 (1)総合的な探究の時間や学校行事等を通じて、地域の理解と愛着を促し、本校生徒としての誇りを醸成する 【行動指標】 ①総合的な探究の時間等で地域について学ぶ 【成果指標】 ①学校行事等に参加する生徒の増加 (2)主体的・対話的で深い学びをすすめ、ともに学ぶ仲間を大切にする態度を養う。 【行動指標】 ①ペアワーク等、授業内でのコミュニケーション機会の創出</p> | (年度末および適宜記載) | |
| 改善課題 | | | |
| (年度末に記載) | | | |

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|--------------------------------|--|--------------|----|
| 教職員の資 質向上・チ ームワーク の向上 | (1)コンプライアンス意識向上の取組の推進 【行動指標】 ①国等からの通知の共有 ②コンプライアンス研修の実施 (2)教員間の情報交換会の実施 【行動指標】 ①打合せや会議等で情報交換の機会を設定 | (年度末および適宜記載) | ◎ |
| 地域との信 頼関係の深 化 | (1)中学校や関係機関との連携強化 【行動指標】 ①新入生の出身中学校の訪問 ②地域の支援機関等との連携 (2)地域等への情報発信 【行動指標】 ①授業公開や学校見学会の実施 | (年度末および適宜記載) | |
| 保護者との 連携強化 | ○個別面談 (1)計画的な個別面談の実施 【行動指標】 ①年3回以上の個別面談を実施 ○情報発信 (1)すぐーるで「保健だより」や面談等の連絡を実施 【行動指標】 ①月1回以上の情報発信 | (年度末および適宜記載) | |
| 働きやすい 職場環境 | (1)業務の効率化を図り、休暇取得を促進し、総勤務時 間を縮減 【指標】 ①夏季休暇以外の特休及び年休取得(4~1月)の合計 日数の平均15日以上 ②毎日の定時退校 ③60分以内に終了する会議の割合100% ④時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人 ⑤時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延 べ人数0人 ⑥1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下 | (年度末および適宜記載) | ◎ |
| 改善課題 | | | |
| (年度末に記載) | | | |

6 学校関係者評価

| | |
|-----------------------------|----------|
| 明らかになった 改善課題と次への 取組方向 | (年度末に記載) |
|-----------------------------|----------|

7 次年度に向けた改善策

| | |
|--------------|----------|
| 教育活動についての改善策 | (年度末に記載) |
| 学校運営についての改善策 | (年度末に記載) |